

ボランティアセンター通信

発行：社会福祉法人 鈴鹿市社会福祉協議会



色とりどりの落ち葉が舞い散り、冬の訪れが近づいています。日中は暖かく過ごしやすい日もありますが、朝晩は寒くなってきましたので、手洗い・うがいなどの予防をしっかりと、風邪をひかないように体調管理にお気をつけください。さて、今月号では、鈴鹿市社会福祉大会の開催についてご案内いたします。当日は日本福祉大学客員教授湯浅誠氏の講演を予定しております。みなさまのご来場をお待ちしています。

講座紹介♪♪

初心者向けの手話講座の紹介！

令和7年度 手話講座 募集 ♪



【手話講座】(全4回)

内 容：手話を介して交流し、聴覚障がいについて理解を深め、耳が聞こえない方、聞こえにくい方の社会参加を支援していただくボランティアの養成講座です。

協力団体：鈴鹿市聴覚障害者協会、手話サークル「とちの実」

日 程：令和8年2月4日(水)、18日(水)、25日(水)、3月4日(水)

時 間：10:00～12:00

場 所：鈴鹿市社会福祉センター 2階 大会議室

対 象：鈴鹿市内在住・在勤・在学の方 (※初心者の方)

定 員：30名

受 講 料：1,000円 (税込/テキスト代含む)

申込締切：1月28日(水)

【問合せ先】社会福祉法人 鈴鹿市社会福祉協議会 企画総務課 喜多川

〒513-0801 鈴鹿市神戸地子町383番地の1
TEL 059-373-5750
FAX 059-382-7330

たくさんの参加
まてでシカッ♪



「赤い羽根共同募金」にご協力をお願いします！

問 題

Q. みなさんが赤い羽根共同募金に100円を募金したら、何に使われるでしょうか？

A. みなさんが100円の募金をすれば、80円はみなさんが住む鈴鹿市のために使われます。

★例えばこのようなことに使われています

◆地域での繋がり

子育ての悩みを共有したり、身近な地域でおしゃべり等を楽しむ サロン活動。

一人暮らし高齢者の見守り支援として給食サービス等に使われています。

◆安心のできる暮らし

日々のちょっとしたことを支援する認知症支援ボランティアの養成講座や活動の支援に使われています。

◆福祉の体験・遊び場

市内の小学校の児童が福祉施設を訪問して、福祉について学ぶワークキャンプ事業や、おもちゃ図書館にて発達の子になる子どもにおもちゃで遊ぶ機会の提供等に使われます。

残り20円は三重県内で活動する福祉団体に助成したり、災害等準備金として使われます。

赤い羽根共同募金は鈴鹿市をよりよくするために、みなさんの身近なところで使われています。

ご協力
お願いします



「第48回 鈴鹿市社会福祉大会」のお知らせ

永年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝の意を表すると共に社会福祉関係者および市民一人ひとりが『福祉の心』を育み、ぬくもりに満ちた地域社会づくりを推進していくことを目的に開催します。第2部の記念講演もごさいますので、ぜひご参加ください。

◇日 時 令和7年11月21日(金) 開場12:30 開演13:30～15:30

◇場 所 ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿(鈴鹿市飯野寺家町810)
※近鉄鈴鹿市駅から「ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿」行きの三交バスまたはタクシーで4分

◇主 催 鈴鹿市、鈴鹿市社会福祉協議会、鈴鹿市共同募金委員会

◇その他 入場無料 予約不要 手話通訳・要約筆記あり

【第1部】 13:30～14:10 式典・顕彰 14:10～14:20 福祉体験体験発表

【第2部】 14:30～15:30 記念講演会

◆講演内容 : 「子ども食堂ってどんなところ」

◆講 師 : 日本福祉大学客員教授 湯浅 誠 氏

【お問い合わせ先】鈴鹿市社会福祉協議会 企画総務課 TEL059-382-5971



『子ども食堂』の豆知識

子ども食堂とは、子どもが無料または低額で食事を摂ることができる場所で、地域のコミュニティを支える重要な取り組みです。

子ども食堂の目的

- ① ひとりごはんを食べる子どもを減らしたい
- ② 安心して過ごせる「居場所」をつくりたい
- ③ 子どもと家庭をさりげなく見守りたい
- ④ 食を通じて“体験”や“学び”のチャンスを増やしたい
- ⑤ 地域のつながりをつくりたい

詳しくは
福祉大会で！
是非！ご来場ください♪



子ども食堂の数は年々増加しており、2024年度には全国で10,867箇所に達しました。これにより、約1,885万人の子どもたちが利用しているとされています。
子ども食堂は、地域のにぎわいを生み出し、孤独や貧困の問題を改善する役割も果たしています。



フードドライブや寄付で頂いた食料は、子ども食堂にも活用をしています。

「鈴鹿市ボランティアセンター」LINE公式アカウントを開設しています！



ご登録は右記のQRコードから、もしくは
「@066vrlhh」でID検索してください。



イベントなどでボランティアさんのお手伝いが必要な施設団体や、メンバーの募集をしたいという団体はぜひご一報ください。ボランティア通信に掲載させていただきます。
(※掲載枠には数に限りがございますのでご了承ください。)

◇ボランティア活動、ボランティア通信へのお問合せ、申し込みは…

〒513-0801

鈴鹿市神戸地子町383-1 TEL(059)373-5750/FAX(059)382-7330

E-mail : s.syakyo@suzuka-shakyo.or.jp 担当: 加藤・喜多川

* お問い合わせは月曜日～金曜日<8:30～17:15>にお願いします。

